

ITツール導入・活用に関する 実態調査

～導入率・満足度・予算状況・導入前後の課題など～



INDEX

1. 本冊子のポイント
2. ITツールの導入・利用状況
 - ・ ITツールの導入状況（全体/企業規模別/テレワーク実施別）
 - ・ 今後導入を検討しているITツール（全体/企業規模別）
 - ・ ITツールの満足度
 - ・ ITツールの満足理由
 - ・ ITツールの平均継続導入年数
3. ITツール導入にあたっての課題・ポイント
 - ・ ITツール導入のきっかけ
 - ・ ITツール導入の際に重視するポイント
 - ・ ITツール導入の際の情報源
 - ・ ITツール導入時の課題（全体/企業規模別）
4. ITツール導入のための予算状況（全体/企業規模別）
5. ITツール導入による効果
 - ・ ITツール導入によって得られた効果・メリット
 - ・ ITツール導入による生産性の向上
6. ITツール導入後の課題とツール変更
 - ・ ITツール導入後の課題（全体/企業規模別）
 - ・ ITツールの変更検討有無
 - ・ ITツールの変更検討理由（全体/企業規模別）
 - ・ 変更検討したITツール

1. 本冊子のポイント

本冊子は、ITツール導入時の選定・決定に携わる人を対象に、ITツールの導入実態について調査したものです。使用しているITツール、その満足度、導入予算等について動向を調べました。

ITツールの導入・利用状況・満足度

- ・ ITツールの導入率トップは「Web会議システム」。次いで「勤怠・労務管理システム」「給与計算システム」の順であった。
- ・ 今後導入を検討しているITツールとしては、「AI・IoTシステム」「電子サイン・電子契約システム」「RPA（業務自動化）」が上位にあがった。
- ・ ITツールの満足度としては、「Web会議システム」が62.8%でトップ、他のツールも概ね50%以上が満足していると回答した。
- ・ 満足している理由は、「使いやすい操作性」がいずれにも共通しており、他に「ランニングコストが安い」や「生産性があがった」も上位に位置する。

ITツールのきっかけ・課題

- ・ ITツール導入のきっかけは「生産性向上のため」が最多、次いで「デジタル化・DX推進」「働き方改革」となった。
- ・ IT導入時に重視するポイントとしては「使いやすい操作性」「ランニングコストが安い」「強固なセキュリティ」が上位にあがった。
- ・ ITツール導入時の課題としては、「既存システムからの移管が難しい」がトップ、次いで「従業員が使いこなせるかわからない」「セキュリティリスクの懸念がある」となったが、企業規模別で見ると少し違いが見られた。

ITツール導入のための予算状況

- ITツールの予算としては、「1,000,001～5,000,000円」と回答した企業が最も多かった。
- 予算の平均については、コロナウイルス感染拡大以降減少が見られたが、直近1年ではコロナ以前の予算平均を上回っており、直近1年で回復傾向が見られる。

ITツール導入の効果と導入後の課題

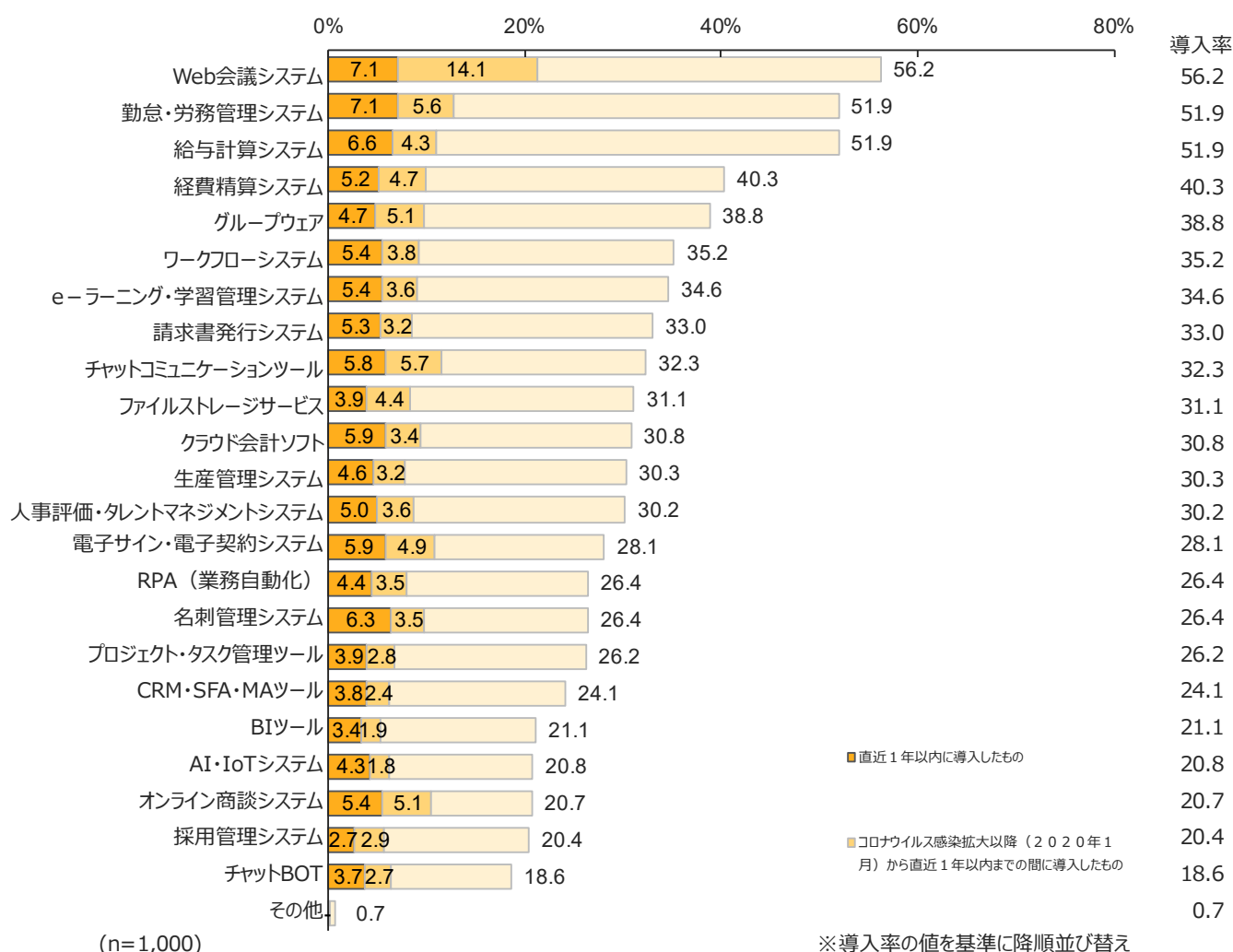
- ITツール導入により、約65%が生産性向上を実感している。
- ITツール導入後の課題としては、「従業員が使いこなせない」がトップで31.1%、次いで「想定していた効果が得られない」となった。
- ITツール導入後に変更検討したことがある人は76.6%。そのうちの27.5%は実際に変更をしている。
- 変更検討の理由としては、「ランニングコストが高い」「セキュリティが脆弱」「他システムとの連携がしづらい」が上位であった。

2. ITツールの導入・利用状況

ITツール導入トップはWeb会議システム

ITツールの導入について、全体では「Web会議システム」が56.2%でトップ、次いで「勤怠・労務管理システム」と「給与計算システム」が51.9%で多い結果となった。コロナウイルス感染拡大以降に導入したものとしては「Web会議システム」「勤怠・労務管理システム」「チャットコミュニケーションツール」などテレワークに対応したツールが上位にあがった。また、「Web会議システム」「勤怠・労務管理システム」については直近1年の導入についても高い導入率をキープしている。

| ITツールの導入状況（全体） ※複数回答



企業規模別で導入率に最も差が見られたツールは「人事評価・タレントマネジメントシステム」

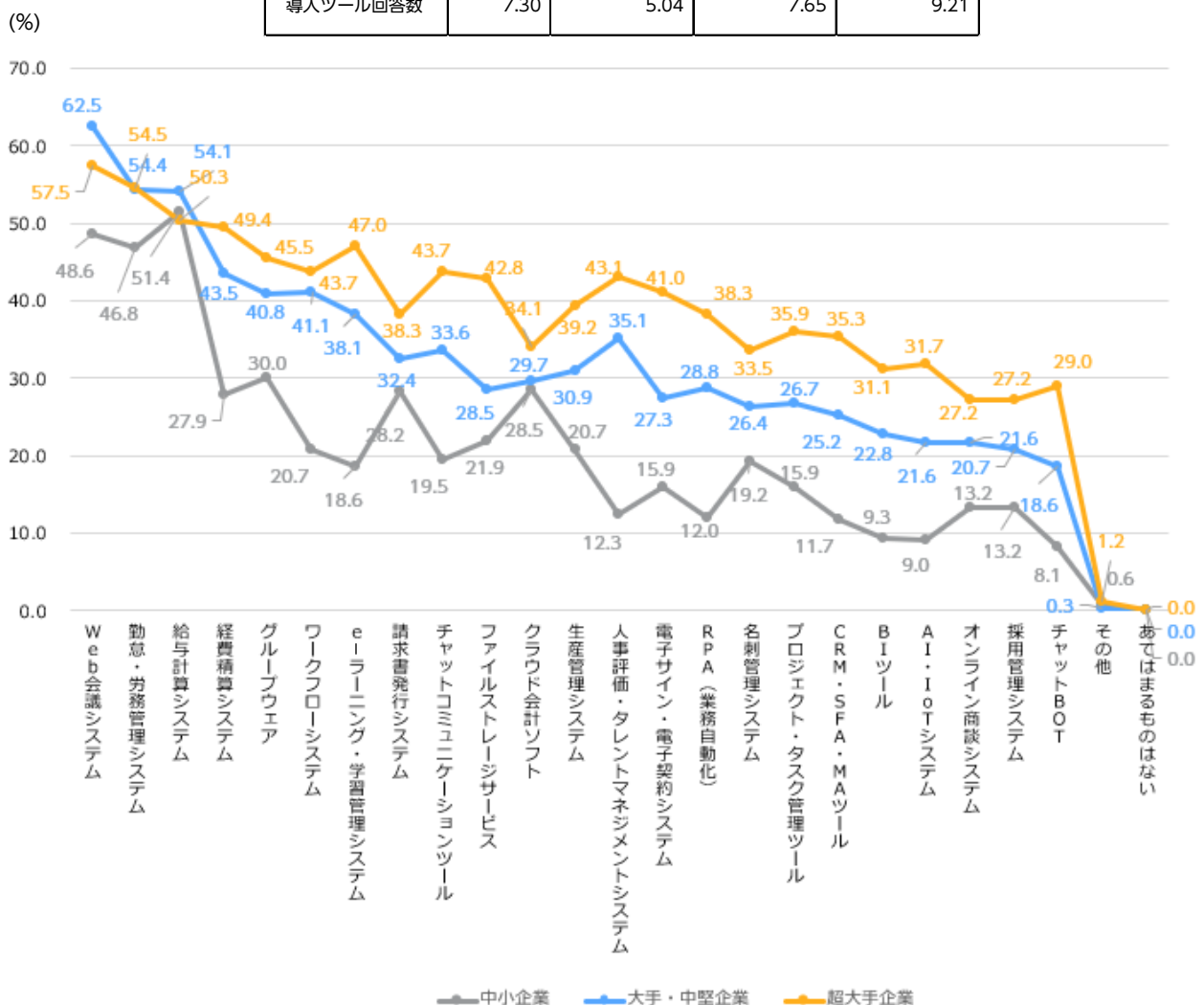
企業規模別に見ると中小企業では平均5.04、大手・中堅企業では7.65、超大手企業では9.21とツール導入数に差が見られた。

ツール別に見ると「人事評価・タレントマネジメントシステム」「eラーニング・学習管理システム」「RPA（業務自動化）」などは特に中小企業の導入率が低く、差が見られた。

また、「Web会議システム」「給与計算システム」は超大手企業よりも中堅・大手企業の方が導入率が高い結果となった。

ITツールの導入状況（企業規模別） ※複数回答

	全体	企業規模別		
		中小企業	大手・中堅企業	超大手企業
n =	1000	333	333	334
導入ツール回答数	7.30	5.04	7.65	9.21

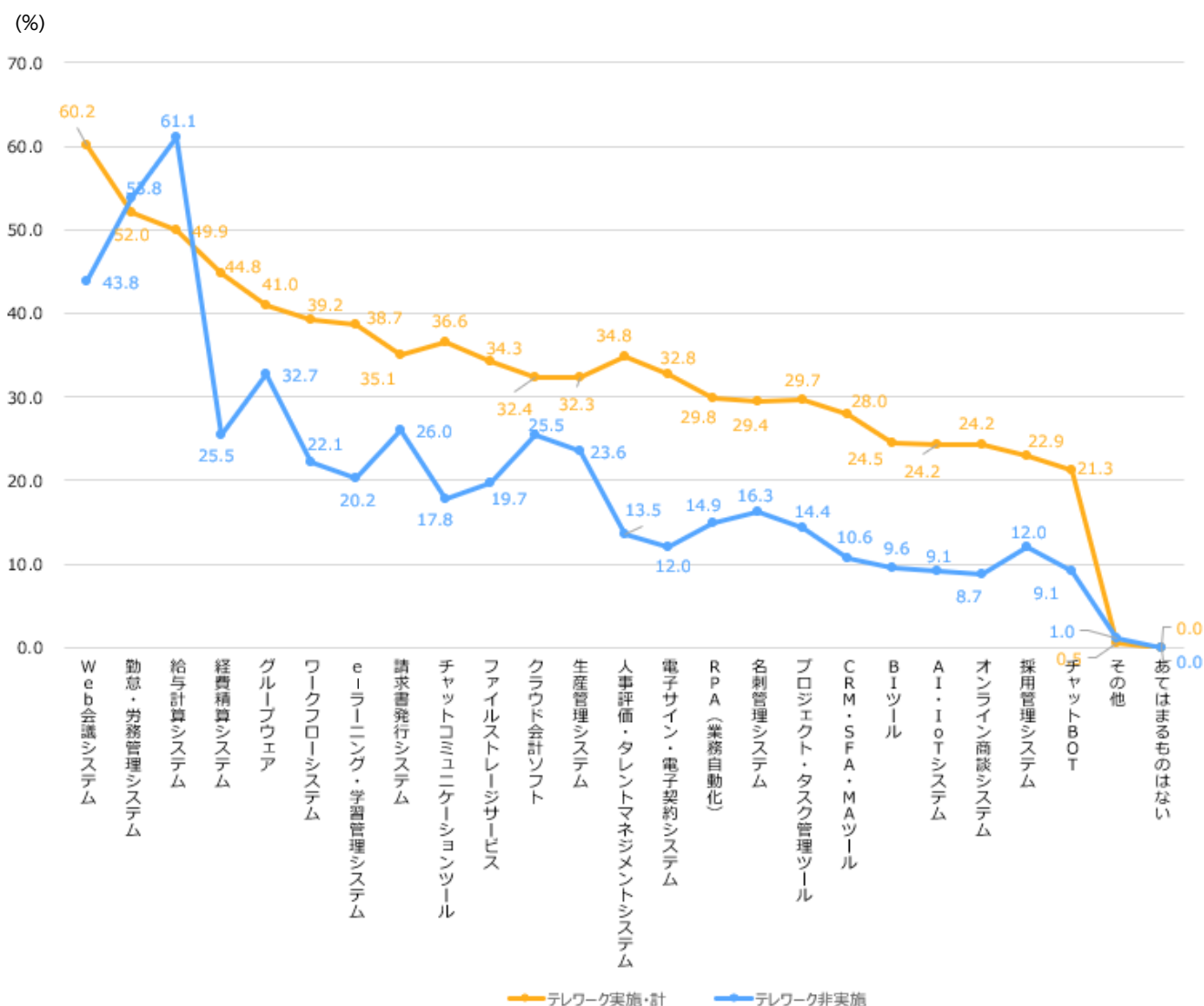


テレワークの実施度が高いほど多くのITツールを導入

「テレワーク実施・計」と「テレワーク実施なし・計」を比較すると「テレワーク実施・計」の方が全体的にITツールの導入率も高い傾向がみられた。ただし、「勤怠・労務システム」や「給与計算システム」は傾向が異なり、「テレワーク実施なし・計」の方が導入率が高かった。

| ITツールの導入状況（テレワーク実施別） ※複数回答

	全 体	テレワーク実施別						
		週5日	週3～4日程度	週1～2日程度	それ以下の頻度	テレワークはしていない	わからない	テレワーク・計
n =	1000	68	269	311	133	208	11	781
導入ツール回答数	7.30	11.84	8.74	7.37	5.93	5.03	1.64	7.99



AI・IoTシステムが、今後の導入検討上位

今後導入を検討しているITツールでは、1位「AI・IoTシステム」、2位「電子サイン・電子契約システム」、3位「RPA（業務自動化）」が上位にあがった。

企業規模別に見ると、すべての規模で「AI・IoTシステム」が上位にあがったが、中小企業では「人事評価・タレントマネジメントシステム」、大手・中堅企業では「電子サイン・電子契約システム」、超大手企業では「CRM・SFA・MAツール」が上位にあがるなど差がみられた。

今後導入を検討しているITツール（全体／企業規模別） ※複数回答

	全体	企業規模別			
		中小企業	大手・中堅企業	超大手企業	
n =	1000	333	333	334	
RPA（業務自動化）	10.0	9.0	12.0	9.0	(%)
BIツール	8.2	6.0	11.1	7.5	
チャットBOT	9.5	6.9	12.9	8.7	
電子サイン・電子契約システム	10.6	8.7	14.4	8.7	
Web会議システム	3.9	2.4	4.5	4.8	
ファイルストレージサービス	6.4	4.5	9.3	5.4	
チャットコミュニケーションツール	6.6	3.9	9.0	6.9	
プロジェクト・タスク管理ツール	7.5	5.1	11.4	6.0	
グループウェア	5.9	3.9	7.5	6.3	
ワークフローシステム	6.5	6.6	7.2	5.7	
AI・IoTシステム	10.8	9.0	13.8	9.6	
勤怠・労務管理システム	4.6	4.5	4.2	5.1	
採用管理システム	8.1	5.7	10.5	8.1	
人事評価・タレントマネジメントシステム	8.7	9.3	11.4	5.4	
eラーニング・学習管理システム	6.8	5.4	9.6	5.4	
CRM・SFA・MAツール	8.5	6.6	9.3	9.6	
オンライン商談システム	7.7	5.1	11.1	6.9	
名刺管理システム	7.4	4.8	10.8	6.6	
生産管理システム	5.6	4.5	7.5	4.8	
クラウド会計ソフト	6.5	3.6	8.7	7.2	
給与計算システム	3.4	3.6	2.4	4.2	
請求書発行システム	7.1	6.6	8.1	6.6	
経費精算システム	5.6	6.3	6.3	4.2	
その他	0.3	0.6	0.3	0.0	
あてはまるものはない	50.9	56.8	42.6	53.3	
導入ツール回答数	1.66	1.33	2.14	1.52	

n=30以上で
 項目内で1位
 項目内で2位
 項目内で3位

Web会議やオンライン商談システムの満足度は高め

現在導入しているITツールの満足度について、Web会議システムは「非常に満足」「満足」の合計が62.8%で最も満足度が高かった。次いで、「電子サイン・電子契約システム」「オンライン商談システム」があがった。他方、「請求書発行システム」や「RPA（業務自動化）」などは「普通」と答えた人の割合も多く、満足度は50%程度にとどまった。

ITツールの満足度

	項目	n=	満足・計		普通	不満・計		(%)	満足・計	不満・計
			非常に満足	満足		不満	非常に不満			
	Web会議システム	562	23.3	39.5		33.6	3.0	0.5	62.8	3.6
	電子サイン・電子契約システム	281	22.1	40.2		32.7	4.3	0.7	62.3	5.0
	オンライン商談システム	207	22.2	39.6		35.3	2.4	0.5	61.8	2.9
	クラウド会計ソフト	308	17.2	41.2		39.0	2.3	0.3	58.4	2.6
	ワークフローシステム	352	16.8	40.9		37.5	4.0	0.9	57.7	4.8
	勤怠・労務管理システム	519	14.6	41.8		39.3	3.7	0.6	56.5	4.2
	グループウェア	388	15.7	40.5		39.7	3.4	0.8	56.2	4.1
	名刺管理システム	264	16.3	39.8		41.7	2.3		56.1	2.3
	生産管理システム	303	16.2	39.6		39.6	4.0	0.7	55.8	4.6
	採用管理システム	204	15.2	40.2		40.2	3.9	0.5	55.4	4.4
	AI・IoTシステム	208	18.8	36.1		40.4	4.3	0.5	54.8	4.8
	経費精算システム	403	16.4	37.7		43.4	1.7	0.7	54.1	2.5
	チャットコミュニケーションツール	323	19.2	34.7		40.6	4.0	1.5	53.9	5.6
	CRM・SFA・MAツール	241	16.6	37.3		40.2	5.8		53.9	5.8
	BIツール	211	17.1	36.5		39.8	5.7	0.9	53.6	6.6
	プロジェクト・タスク管理ツール	262	17.2	36.3		39.3	6.1	1.1	53.4	7.3
	ファイルストレージサービス	311	16.7	36.3		43.4	2.6	1.0	53.1	3.5
	チャットBOT	186	17.2	35.5		39.8	7.5		52.7	7.5
	e－ラーニング・学習管理システム	346	14.7	36.7		42.2	5.8	0.6	51.4	6.4
	人事評価・タレントマネジメントシステム	302	16.6	34.4		42.4	5.3	1.3	51.0	6.6
	給与計算システム	519	15.4	34.9		45.9	3.5	0.4	50.3	3.9
	RPA（業務自動化）	264	17.0	33.0		42.4	6.4	1.1	50.0	7.6
	請求書発行システム	330	14.2	35.5		45.8	3.3	1.2	49.7	4.5
	その他	7	14.3	42.9		28.6	14.3		57.1	14.3

※n=30未満は参考値のため灰色。

※「満足・計」の値を基準に降順並び替え

操作性・ランニングコスト・生産性が満足理由の上位

ITツールに満足している理由としては、どのツールも「使いやすい操作性」がトップにあげられた。他に、「ランニングコストが安い」「生産性があがった」も上位である。個別にみると、「電子サイン・電子契約システム」や「人事評価・タレントマネジメントシステム」などは「強固なセキュリティ」が、「プロジェクト・タスク管理ツール」や「CRM・SFA・MAツール」などは「機能が充実している」といった項目も上位となった。

ITツールの満足理由 ※複数回答

		n=	導入が 安いか コスト	ラン ニング コス ト	使い やす い操 作	強 固な セキ ュリ ティ	連 携シ ステ ムと いの	た 生 産 性 が あ が つ	機 能 が 充 実 し て	手 軽 に 運 用 で き	手 軽 に 導 入 で き	シ ス テ ム が 少 な い ブ	保 守・ サポ ー ト	そ の 他	(%)
項目	RPA（業務自動化）	132	22.0	23.5	32.6	22.0	18.2	28.8	12.1	17.4	17.4	7.6	8.3	-	
	BIツール	113	20.4	22.1	32.7	19.5	16.8	15.9	17.7	14.2	10.6	8.0	4.4	-	
	チャットBOT	98	16.3	19.4	32.7	20.4	15.3	19.4	18.4	21.4	18.4	10.2	4.1	-	
	電子サイン・電子契約システム	175	17.7	24.0	33.1	24.0	11.4	21.1	11.4	13.7	13.7	5.7	6.3	-	
	Web会議システム	353	21.2	25.8	48.2	13.0	9.6	24.4	12.2	22.4	17.3	9.9	2.8	-	
	ファイルストレージサービス	165	19.4	25.5	38.8	20.6	17.0	18.2	18.8	19.4	12.7	7.9	5.5	0.6	
	チャットコミュニケーションツール	174	15.5	24.1	38.5	15.5	16.7	24.7	14.4	19.5	12.6	9.2	5.7	-	
	プロジェクト・タスク管理ツール	140	20.0	19.3	37.9	21.4	12.9	22.1	22.1	16.4	15.7	7.9	6.4	-	
	グループウェア	218	15.6	24.8	41.7	16.1	12.8	23.9	19.7	18.8	16.1	12.8	5.0	-	
	ワークフローシステム	203	15.8	21.2	40.9	16.3	18.2	26.1	13.8	15.3	10.8	5.9	4.4	0.5	
	AI・IoTシステム	114	18.4	19.3	36.0	13.2	16.7	28.9	17.5	13.2	14.0	7.0	8.8	-	
	勤怠・労務管理システム	293	16.4	22.2	41.0	15.7	15.4	21.8	16.4	14.7	7.8	8.5	6.1	-	
	採用管理システム	113	17.7	26.5	36.3	21.2	15.0	23.0	14.2	21.2	14.2	5.3	6.2	0.9	
	人事評価・タレントマネジメントシステム	154	13.6	27.3	33.8	22.7	16.2	20.8	13.0	14.9	9.7	8.4	7.1	-	
	e－ラーニング・学習管理システム	178	18.5	23.6	33.1	16.9	11.8	19.1	11.8	18.5	9.0	7.9	5.1	0.6	
	CRM・SFA・MAツール	130	16.9	25.4	28.5	22.3	20.8	26.2	21.5	15.4	6.9	7.7	6.2	0.8	
	オンライン商談システム	128	22.7	24.2	42.2	21.1	18.8	14.1	13.3	17.2	14.1	7.0	8.6	-	
	名刺管理システム	148	18.9	25.7	31.8	12.8	12.8	20.9	11.5	12.2	9.5	6.8	4.7	-	
	生産管理システム	169	16.0	23.1	34.9	16.6	12.4	27.2	17.8	10.1	11.8	5.9	4.7	-	
	クラウド会計ソフト	180	16.1	27.2	42.8	18.9	18.9	21.1	16.1	15.0	9.4	10.6	5.6	-	
	給与計算システム	261	18.4	23.0	38.3	15.7	12.6	18.0	16.5	14.9	11.1	10.0	5.7	-	
	請求書発行システム	164	18.3	30.5	39.0	19.5	13.4	17.7	17.7	14.6	11.6	8.5	6.7	-	
	経費精算システム	218	17.0	22.9	43.6	17.9	11.9	25.2	13.8	15.1	11.5	7.3	5.5	-	
	その他	4	50.0	25.0	25.0	-	-	-	50.0	-	25.0	-	25.0	-	

※n=30未満は参考値のため灰色。

導入後数年のツールが多いが、 管理系システムは10年以上の継続も

平均継続利用年数としては3年～5年未満が多めだが、「給与計算システム」「請求書発行システム」「グループウェア」などは長期の継続利用が多い。一方、「Web会議システム」や「チャットコミュニケーションツール」は「1～3年未満」が最も多く、「RPA」や「AI・IoTシステム」「電子サイン・電子契約システム」などは、「1年未満」が10%強を占める傾向が見られた。

ITツールの平均継続導入年数

(%)

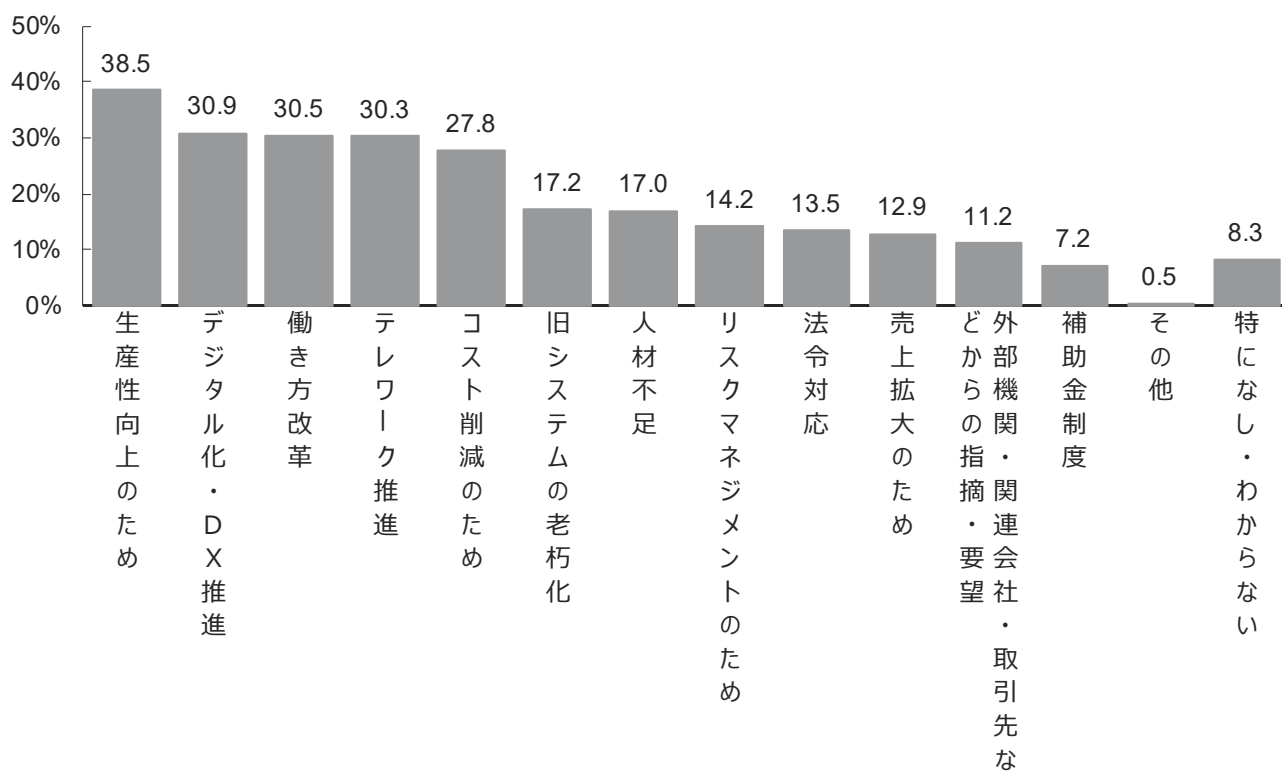
	n =	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上
R P A（業務自動化）	264	12.1	35.6	33.3	13.3	5.7
B I ツール	211	8.1	29.9	30.3	21.8	10.0
チャットBOT	186	11.3	39.8	31.7	11.8	5.4
電子サイン・電子契約システム	281	16.4	38.1	23.5	13.5	8.5
Web会議システム	562	7.8	45.9	26.2	13.7	6.4
ファイルストレージサービス	311	5.8	22.2	29.6	22.8	19.6
チャットコミュニケーションツール	323	10.5	39.0	29.4	13.3	7.7
プロジェクト・タスク管理ツール	262	6.5	32.8	28.2	19.1	13.4
グループウェア	388	7.5	22.9	26.3	20.1	23.2
ワークフローシステム	352	7.7	26.4	30.1	18.8	17.0
A I ・ I o T システム	208	13.0	31.3	36.1	14.4	5.3
勤怠・労務管理システム	519	7.7	22.4	26.8	21.4	21.8
採用管理システム	204	5.4	29.4	33.3	20.6	11.3
人事評価・タレントマネジメントシステム	302	8.6	30.5	25.8	19.2	15.9
eラーニング・学習管理システム	346	5.8	28.6	26.3	20.8	18.5
C R M ・ S F A ・ M A ツール	241	5.0	27.0	29.9	20.7	17.4
オンライン商談システム	207	12.6	39.1	25.6	15.5	7.2
名刺管理システム	264	9.8	31.1	30.7	17.0	11.4
生産管理システム	303	5.0	26.1	30.7	17.8	20.5
クラウド会計ソフト	308	6.8	31.5	29.5	21.1	11.0
給与計算システム	519	5.6	18.9	24.5	20.2	30.8
請求書発行システム	330	7.0	22.7	26.4	20.0	23.9
経費精算システム	403	7.2	22.8	25.6	21.3	23.1
その他	7	0.0	0.0	28.6	0.0	71.4

3. ITツール導入にあたっての課題・ポイント

ITツール導入のきっかけ1位は生産性向上のため

ITツール導入されたきっかけとしては、「生産性向上のため」が38.5%でトップ、次いで「デジタル化・DX推進」が30.9%、「働き方改革」が30.5%という順であった。

| ITツール導入のきっかけ ※複数回答



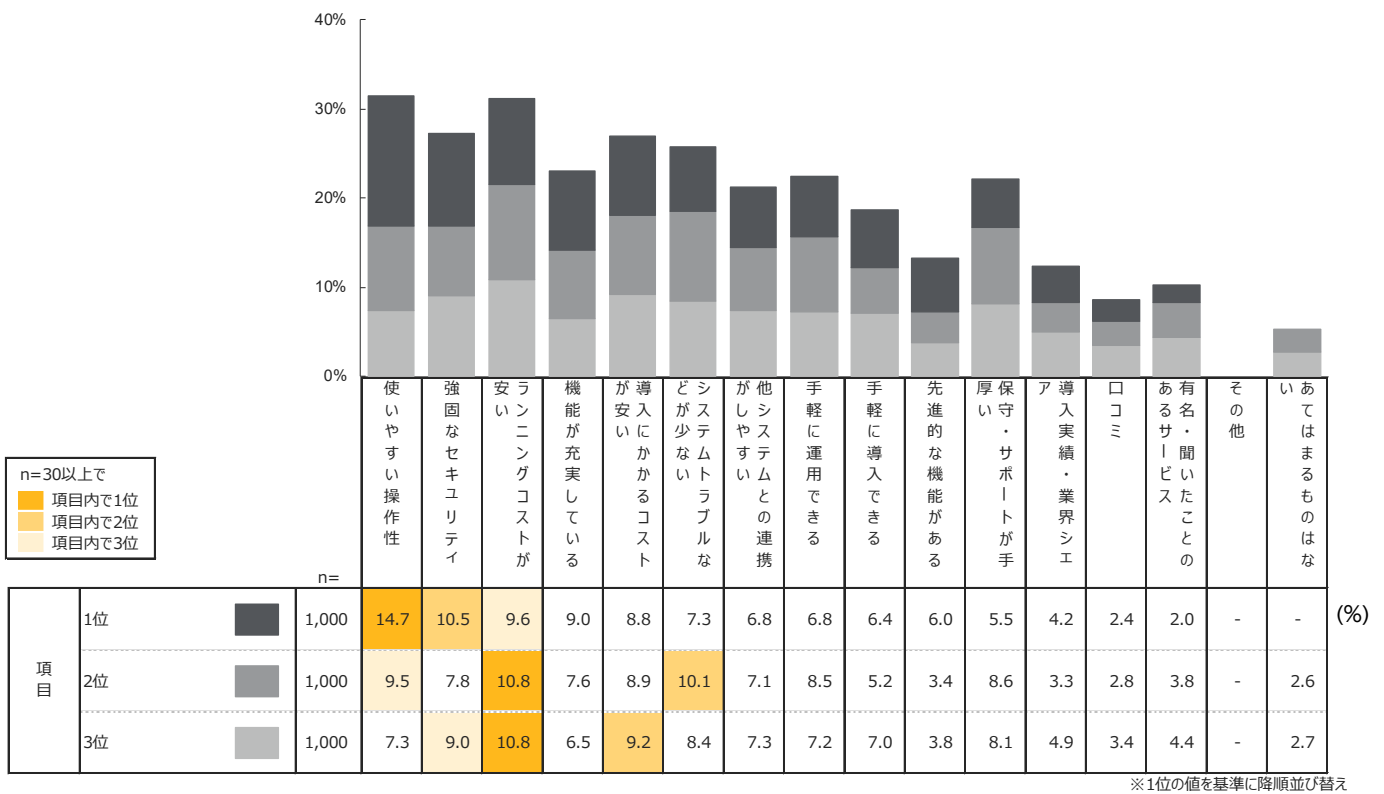
(n=1,000)

※全体の値を基準に降順並び替え

使いやすい操作性を重視する人が多い

ITツール導入で重視する点については、「使いやすい操作性」「ランニングコストが安い」「強固なセキュリティ」、が上位にあがった。また、「システムトラブルなどが少ない」を重視する層も一定数見られた。

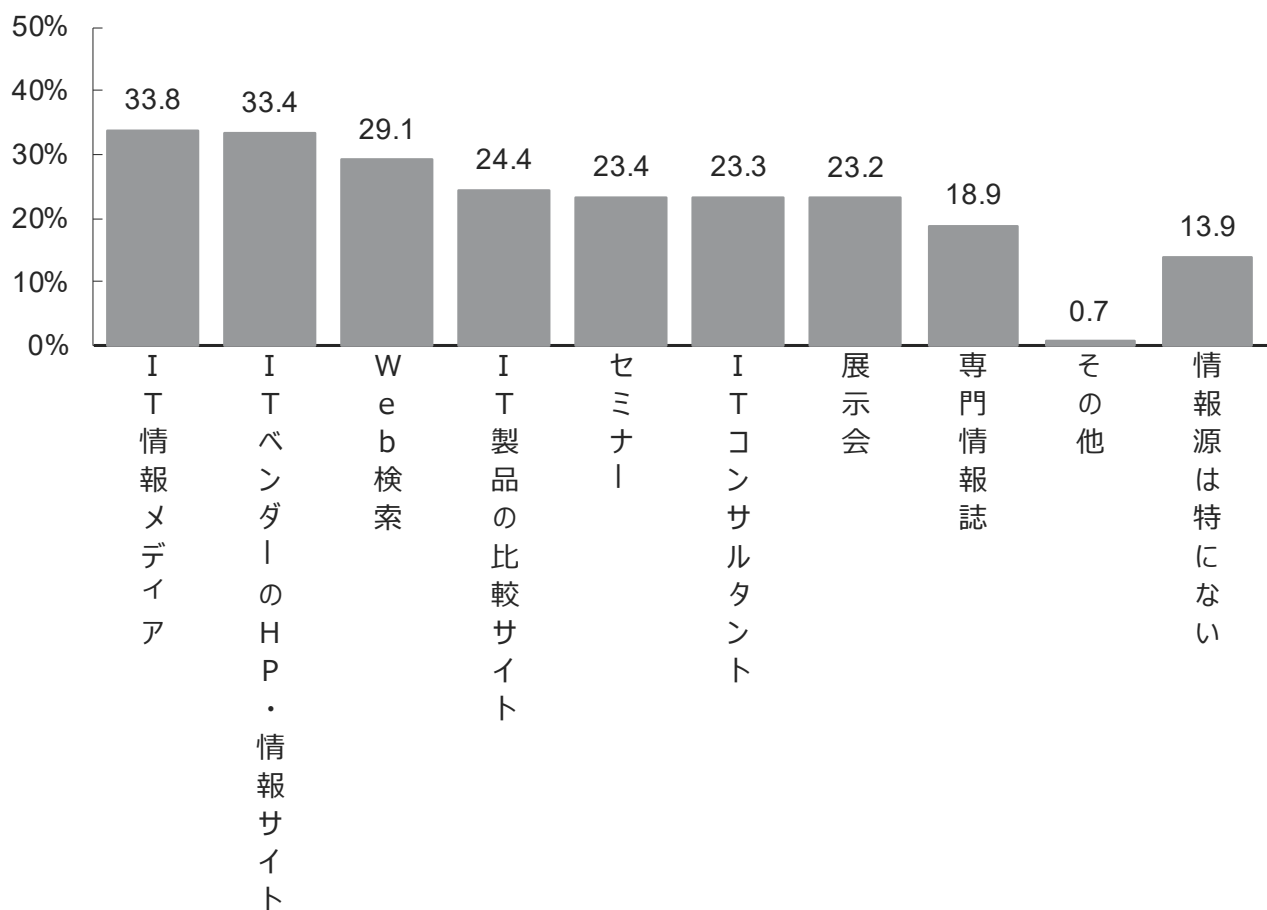
ITツール導入の際に重視するポイント ※3位まで回答



情報収集はメディアやベンダーHP、検索など

ITツール選定にあたり、参考になっている情報源のトップは「IT情報メディア」、次いで「ITベンダーのHP・情報サイト」「Web検索」の順となった。

| ITツール導入の際の情報源 ※複数回答



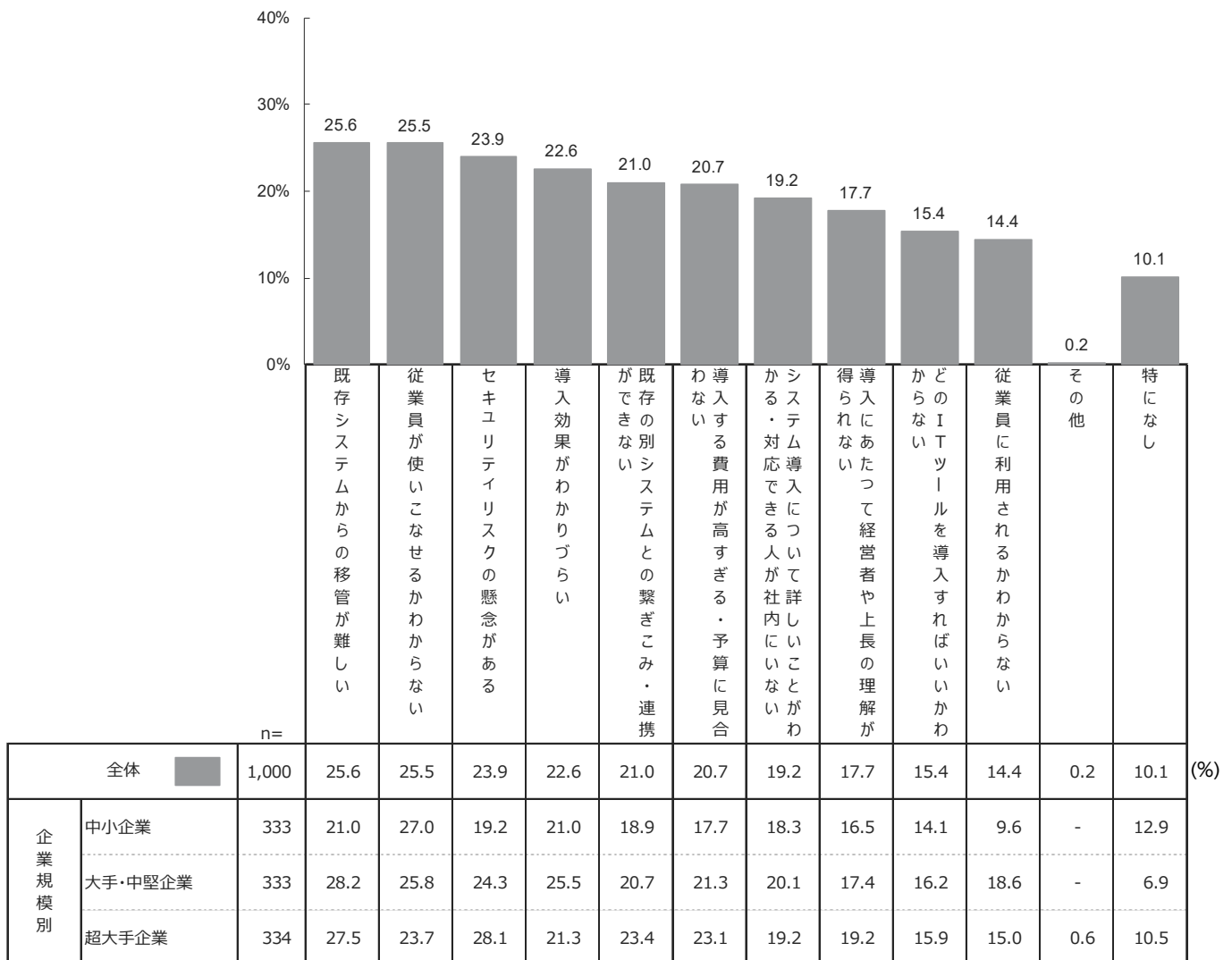
(n=1,000)

※全体の値を基準に降順並び替え

移管の難しさや従業員の活用が導入時の課題

ITツール導入時の課題としては、「既存システムからの移管が難しい」がトップで25.6%、次いで「従業員が使いこなせるかわからない」「セキュリティリスクの懸念がある」が上位であった。企業規模別に見ると、超大手企業は「セキュリティリスクの懸念がある」、大手・中堅企業は「既存システムからの移管が難しい」、中小企業は「従業員が使いこなせるかわからない」がそれぞれトップとなった。

ITツール導入時の課題（全体/企業規模別） ※複数回答



※全体の値を基準に降順並び替え

4. ITツール導入のための予算状況

IT予算は1,000万円未満が50%弱

ITツールの予算としては、「1,000,001～5,000,000円」と回答した企業が最も多かった。

予算の平均については、コロナ以前の平均予算が約2,517万円、コロナウイルス感染拡大以降～直近1年の平均予算が約2,416万円、現在が約2,460万円とコロナ禍で減少していた予算が直近1年で増額に転じていることがわかる。

| ITツール導入のための予算状況（全体）

<全体>		(%)								平均（万円）
	n=	～500,000円	500,001～1,000,000円	1,000,001～5,000,000円	5,000,001～10,000,000円	10,000,001～50,000,000円	50,000,001～100,000,000円	100,000,001円～	わからない	
現在	1,000	10.9	11.8	16.2	12.3	8.9	5.4	10.4	24.1	2460.0
直近1年前	1,000	9.0	12.7	16.1	11.6	10.6	5.3	9.4	25.3	2416.1
感染拡大前	1,000	10.3	11.0	14.8	12.0	11.0	5.7	9.7	25.5	2517.2

超大手企業の平均予算は4千万円超、中小企業は9百万円超

企業規模別の現在の平均予算は、中小企業が約911万円、大手・中堅企業が約2,259万円、超大手企業が約4,088万円で、金額差が見られた。中小企業の予算はコロナウイルスの感染拡大以降、右肩下がりとなっている。大手・中堅企業はコロナ禍で一時減少したものの、直近1年でコロナ以前を上回る結果となった。超大手企業はコロナウイルス感染拡大以前ほどではないが直近1年で回復傾向が見られた。

| ITツール導入のための予算状況（企業規模別）

<中小企業>

										(%)
		～500,000円	500,001～1,000,000円	1,000,001～5,000,000円	5,000,001～10,000,000円	10,000,001～50,000,000円	50,000,001～100,000,000円	100,000,001円～	わからない	平均（万円）
現在	n=									
	333	15.3	14.1	21.9	10.2	6.0	2.1	5	28.8	911.3
	直近1年前	16.5	13.5	19.8	9.0	6.9	2.4	5	30.3	980.3
感染拡大前		16.8	14.7	16.5	9.0	7.8	3.3	1.5	30.3	1103.3

<大手・中堅企業>

										(%)
		～500,000円	500,001～1,000,000円	1,000,001～5,000,000円	5,000,001～10,000,000円	10,000,001～50,000,000円	50,000,001～100,000,000円	100,000,001円～	わからない	平均（万円）
現在	n=									
	333	9.0	12.9	18.0	15.3	9.3	5.7	9.0	20.7	2259.4
	直近1年前	6.3	13.5	19.2	14.7	11.7	4.8	7.5	22.2	2113.4
感染拡大前		8.7	11.4	18.0	16.5	9.6	5.7	7.8	22.2	2170.1

<超大手企業>

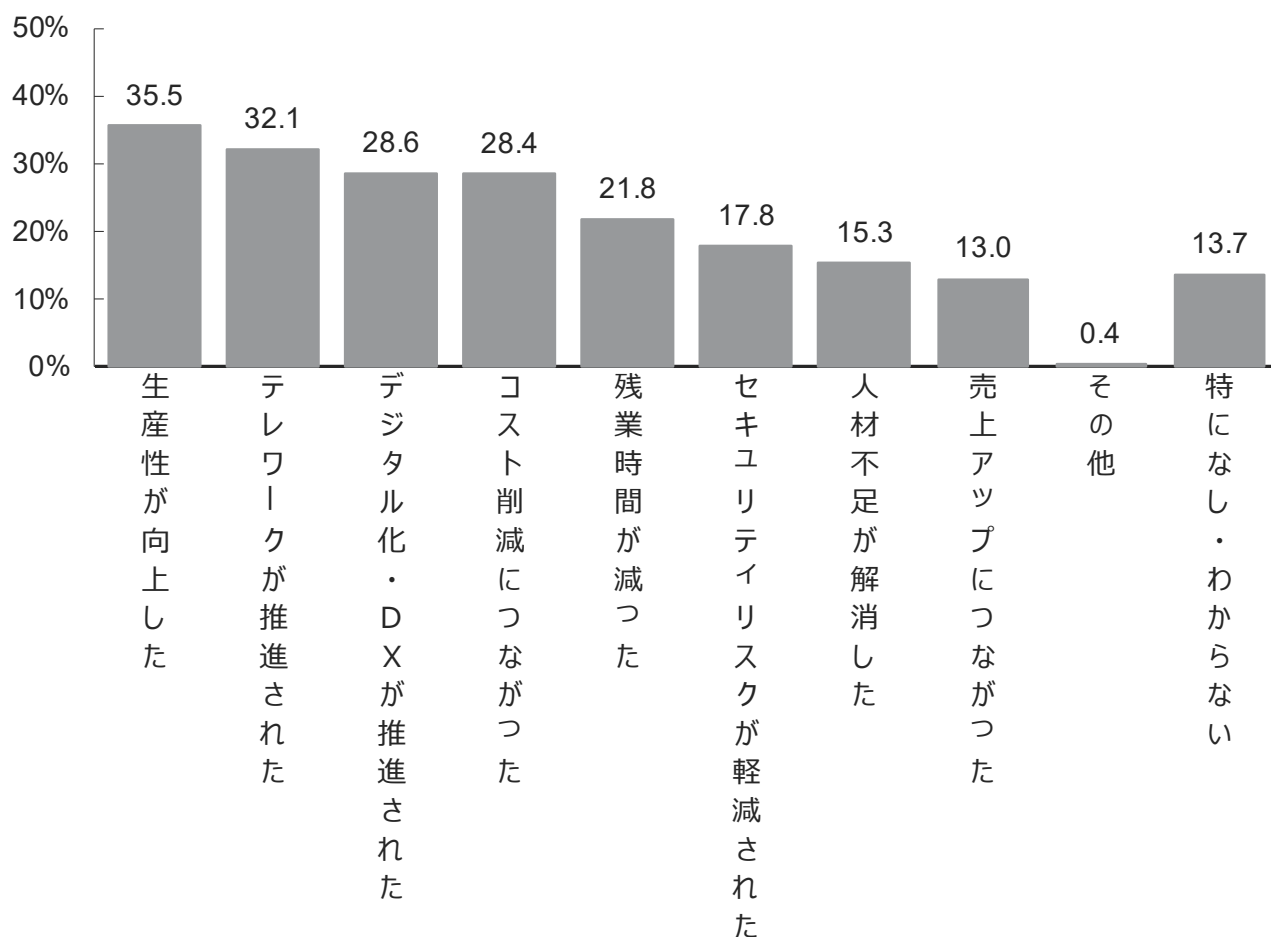
										(%)
		～500,000円	500,001～1,000,000円	1,000,001～5,000,000円	5,000,001～10,000,000円	10,000,001～50,000,000円	50,000,001～100,000,000円	100,000,001円～	わからない	平均（万円）
現在	n=									
	334	8.4	8.4	8.7	11.4	11.4	8.4	20.7	22.8	4088.0
	直近1年前	4.2	11.1	9.3	11.1	13.2	8.7	19.2	23.4	4023.5
感染拡大前		5.4	6.9	9.9	10.5	15.6	8.1	19.8	24.0	4162.5

5. ITツール導入による効果

生産性向上の効果が第1位

ITツール導入によって得られた効果・メリットとしては、「生産性が向上した」が35.5%でトップ、次いで「テレワークが推進された」「デジタル化・DXが推進された」「コスト削減につながった」がそれぞれ一定数挙げられた。

| ITツール導入によって得られた効果・メリット ※複数回答



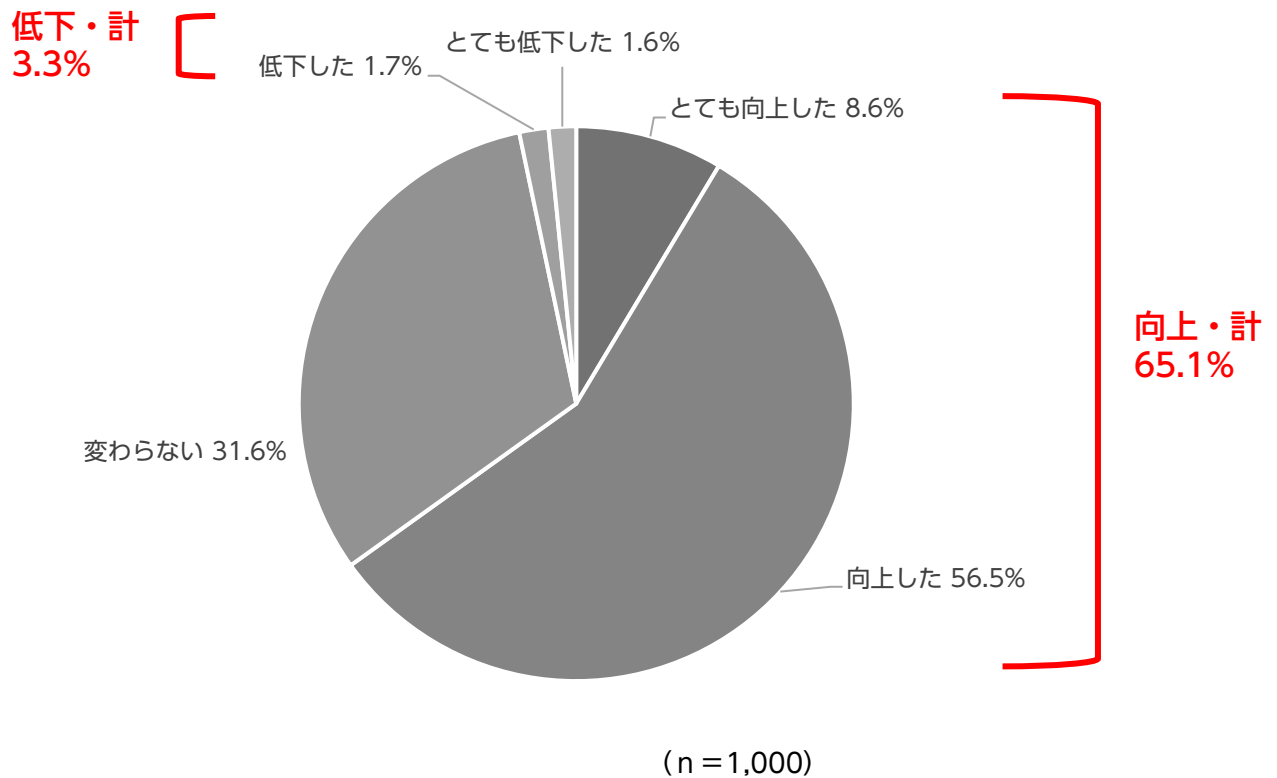
(n=1,000)

※全体の値を基準に降順並び替え

65.1%が生産性向上を実感

ITツール導入による生産性への影響については、「とても向上した」「向上した」の合計が65.1%と多くの人が生産性の向上を実感していることがわかった。

| ITツール導入による生産性の向上

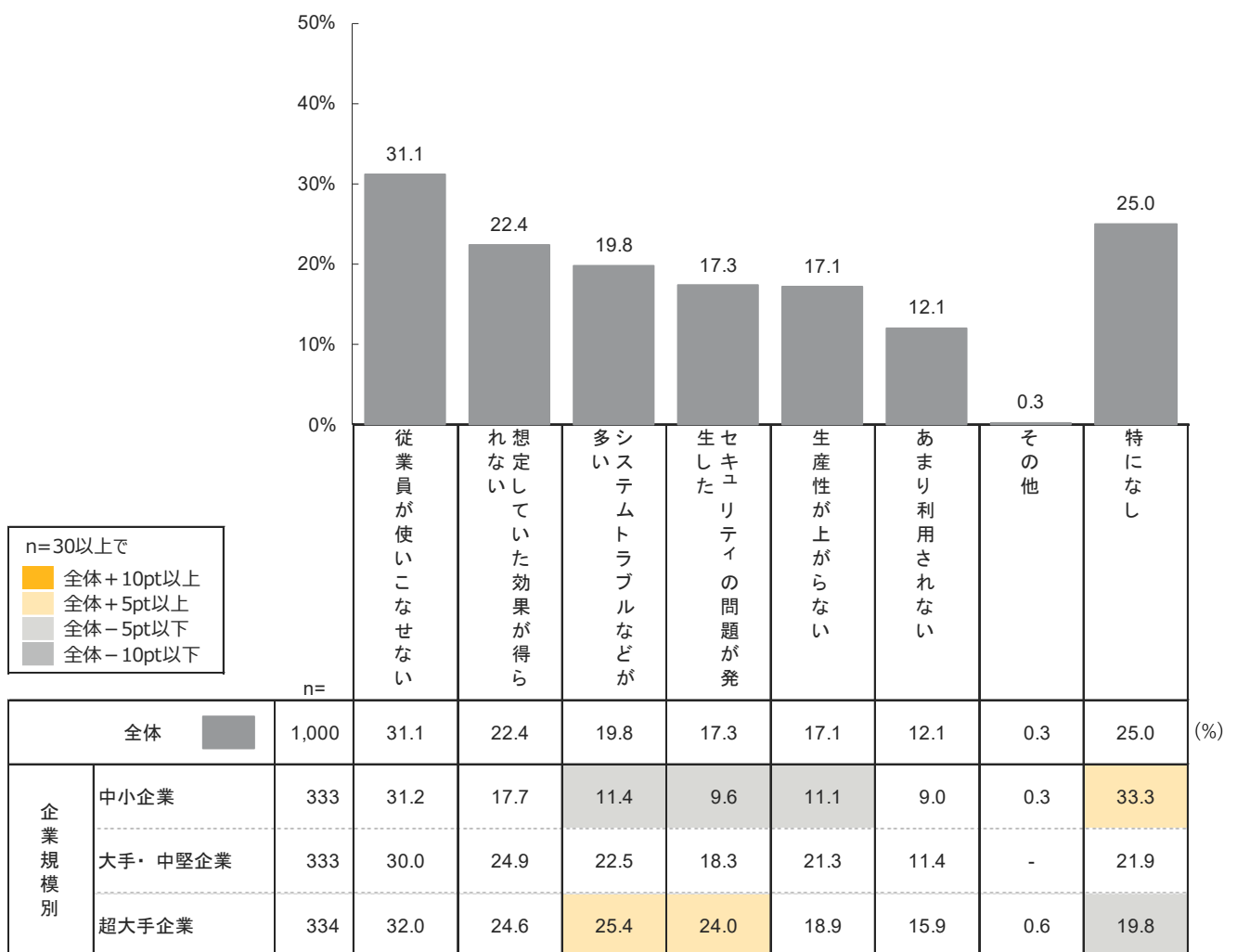


6. ITツール導入後の課題とツール変更

導入後の課題は「従業員が使いこなせない」

ITツール導入後の課題としては、「従業員が使いこなせない」がトップで31.1%、次いで「想定していた効果が得られない」という人も22.4%を占めた。

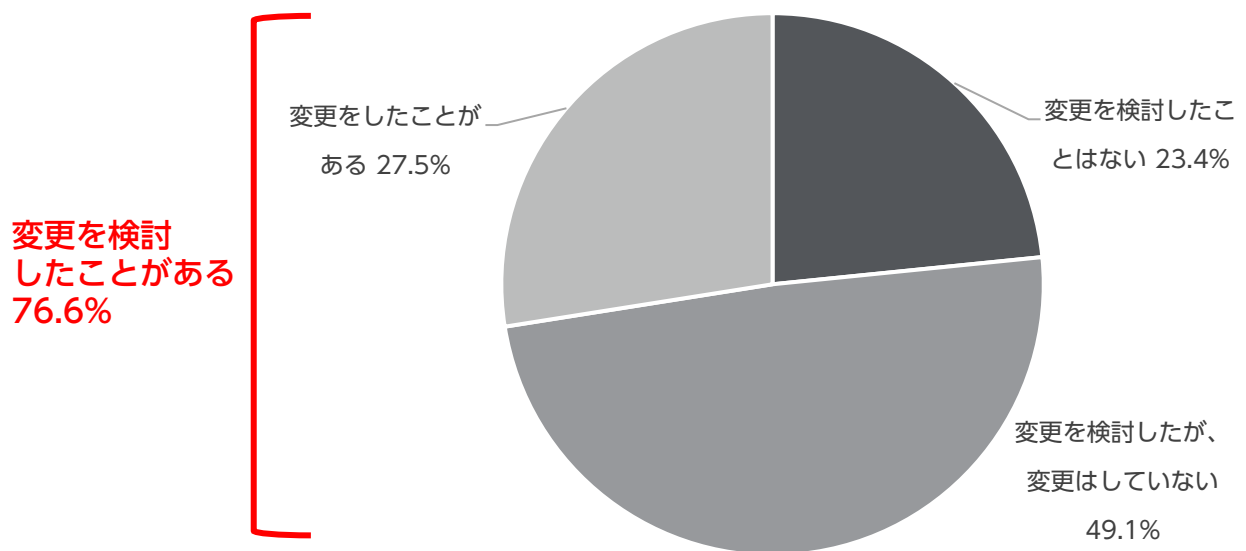
| ITツール導入後の課題（全体/企業規模別） ※複数回答



76.6%がITツール変更を検討したことあり

ITツールの変更検討については、「変更を検討したが、変更はしていない」が49.1%、「変更をしたことがある」が27.5%と、8割近くの人がITツールの変更を検討したことがあることがわかった。

| ITツールの変更検討有無



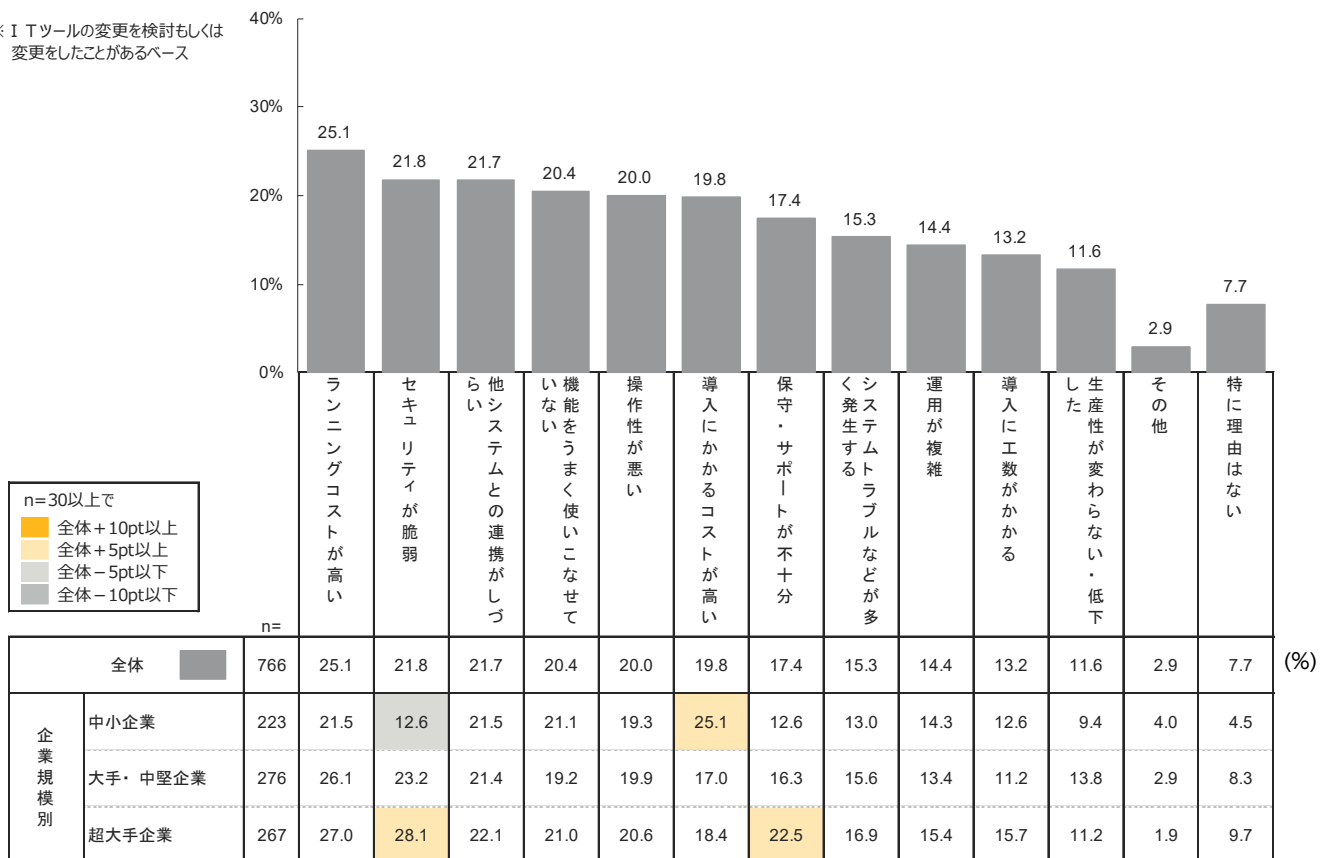
(n=1,000)

コスト・セキュリティ・他システム連携が 変更検討の上位理由

ITツールの変更を検討した人の理由としては、「ランニングコストが高い」(25.1%)、「セキュリティが脆弱」(21.8%)、「他システムとの連携がしづらい」(21.7%)が上位であった。企業規模別に見ると、超大手企業は他に「保守・サポートが不十分」、中小企業は「導入にかかるコストが高い」も上位項目にあがった。

ITツールの変更検討理由（全体/企業規模別） ※複数回答

※ ITツールの変更を検討もしくは
変更をしたことがあるベース



※全体の値を基準に降順並び替え

変更検討ツールのトップはWeb会議システム

これまでに変更を検討したITツールとしては、「Web会議システム」「勤怠・労務管理システム」「グループウェア」「給与計算システム」を15%超の人が挙げている。実際に変更を行った場合の上位項目も同様の結果となった。

変更検討したITツール ※複数回答

	変更を検討したもの	実際に変更を行ったもの
n =	766	275
Web会議システム	18.7	20.4 (%)
勤怠・労務管理システム	17.1	16.0
グループウェア	16.3	19.6
給与計算システム	15.4	15.3
経費精算システム	14.9	12.4
生産管理システム	14.4	10.9
ワークフローシステム	12.1	12.7
ファイルストレージサービス	11.5	10.9
クラウド会計ソフト	11.0	7.3
eラーニング・学習管理システム	10.8	8.4
人事評価・タレントマネジメントシステム	10.7	10.5
CRM・SFA・MAツール	10.4	11.3
請求書発行システム	10.4	6.9
RPA（業務自動化）	10.3	5.1
プロジェクト・タスク管理ツール	10.1	7.3
採用管理システム	10.1	5.8
BIツール	9.7	7.3
チャットコミュニケーションツール	9.7	7.6
電子サイン・電子契約システム	8.6	5.5
AI・IoTシステム	8.6	5.8
名刺管理システム	8.5	6.2
オンライン商談システム	8.0	5.1
チャットBOT	6.5	3.3
その他	0.8	0.7
あてはまるものはない	9.8	17.8

n=30以上で
 項目内で1位
 項目内で2位
 項目内で3位

回答者の属性

性別・役職

性別

(%)

男性	女性
88.1	11.9

(n=1,000)

年齢

(%)

25～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳
2.8	15.6	29.8	35.6	16.2

(n= 1,000)

職業

(%)

会社勤務（一般社員）	38.4
会社勤務（管理職）	50.6
会社経営（経営者・役員）	11.0
公務員・教職員・非営利団体職員	0.0
派遣社員・契約社員	0.0
自営業（商工サービス）	0.0
SOHO	0.0
農林漁業	0.0
専門職（弁護士・税理士等・医療関連）	0.0
パート・アルバイト	0.0
専業主婦・主夫	0.0
学生	0.0
無職	0.0
その他の職業	0.0

(n=1,000)

業種

(%)

農業、林業	0.9
漁業	0.6
鉱業、採石業、砂利採取業	0.2
建設業	5.0
製造業	32.9
電気・ガス・熱供給・水道業	2.0
情報通信業	10.5
運輸業、郵便業	5.2
卸売業、小売業	8.1
金融業、保険業	7.1
不動産業、物品賃貸業	2.7
学術研究、専門・技術サービス業	2.4
宿泊業、飲食サービス業	2.1
生活関連サービス業、娯楽業	1.8
教育、学習支援業	1.6
医療、福祉	4.9
複合サービス事業	0.6
サービス業（他に分類されないもの）	8.4
公務（他に分類されるものを除く）	0.2
上記で分類不能の産業	2.8

(n=1,000)

企業規模

(%)

超大手企業	33.3
大手・中堅企業	33.3
中小企業	33.4

5,000名以上：超大手企業
 500～4,999名：大手・中堅企業
 30～499名：中小企業

(n=1,000)

調査概要

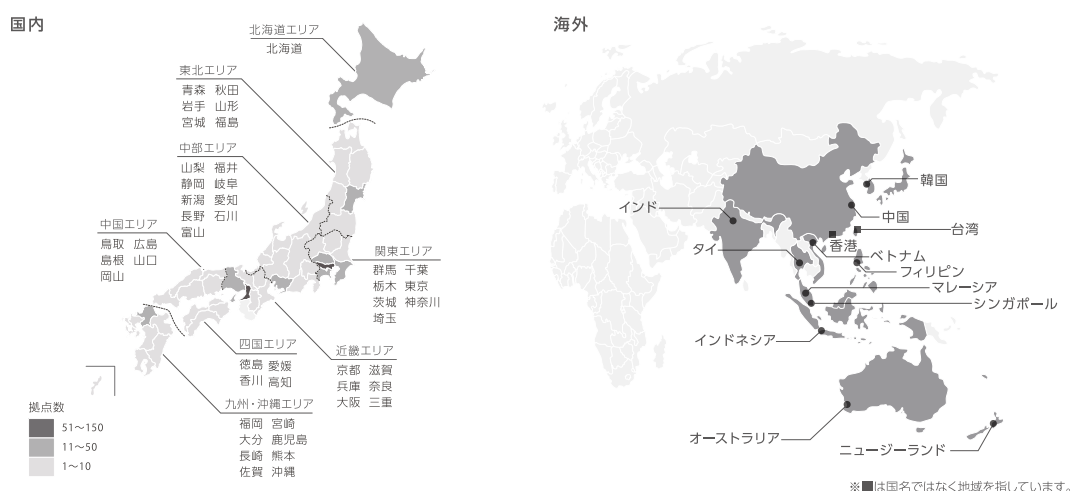
調査エリア	全国47都道府県
調査対象者	・ 25～69歳男女 ・ 会社員（一般社員、管理職、経営者・役員） ・ 企業のITツール導入時の選定・決定に携わる人 ・ 勤務先または経営する企業の従業員規模が30人以上の人
企業区分	勤め先（または経営企業）の従業員人数 30～499名：中小企業 500～4,999名：大手・中堅企業 5,000名以上：超大手企業
サンプル数・割付	n=1,000（中小企業/大手・中堅企業/超大手企業）
調査期間	2022年4月8日（金）～2022年4月11日（月）
調査手法	調査会社によるインターネット定量調査

パーソルグループは、「はたらいて、笑おう。」をグループビジョンに、人材派遣サービス、転職サービス、ITアウトソーシングや設計開発など、人と組織にかかわる多様なサービスを提供しています。

さらにそれにとどまらず、人とテクノロジーの融合による次世代のイノベーション開発、またアジア・パシフィック地域を中心とした海外でのサービス拡大にも積極的に取り組んでいます。



※従業員数49,434名(当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む)と、臨時雇用者数(契約社員、派遣社員)の年間平均人員5,326名の合計です。



会社概要

社名	パーソルホールディングス株式会社
本店所在地	〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-1
設立	2008年(平成20年)10月1日
資本金	17,479百万円(2021年4月1日時点)
代表者	代表取締役社長 CEO 和田 孝雄
事業内容	労働者派遣事業・有料職業紹介事業等の事業を行うグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務
URL	https://www.persol-group.co.jp/service/business/index.html

お問い合わせ

Webでのお問い合わせ

https://go.persol-group.co.jp/business_contact.html



電話でのお問い合わせ

0120-959-648



P E R S O L